

# Technics

ターンテーブルシステム

品番 **SL-1200MK3**

取扱説明書

保証書別添



QUARTZ

■この説明書と保証書をよくお読みのうえ、正しくご使用ください。その後大切に保管し、わからないとき、もう一度お読みください。

■保証書は、必ず「販売店名・購入日」などの記入を確かめて、販売店からお受け取りください。

上手に使うって上手に節電——

音量は必要以上に大きくしないで！ ご使用後は、忘れずに電源を切って！

## 目次

|               |     |
|---------------|-----|
| 各部の名称         | 2   |
| お使いになる前に      | 2   |
| 組立てかた         | 2~3 |
| 針圧調整のしかた      | 4~5 |
| 接続のしかた        | 5   |
| プレーヤの設置       | 6   |
| 演奏のしかた        | 6~7 |
| 調整のしかた        | 7   |
| 取扱い上のご注意      | 8   |
| 定格            | 9   |
| 安全にご使用いただくために | 10  |
| アフターサービスについて  | 11  |

## 各部の名称



## お使いになる前に

次の順序に従って組立ててください。

|                  |   |
|------------------|---|
| 本 体.....         | 1 |
| ターンテーブル.....     | 1 |
| ターンテーブルシート.....  | 1 |
| ディスクスリップシート..... | 1 |
| ダストカバー.....      | 1 |
| EJレコード用アダプタ..... | 1 |
| バランスウェイト.....    | 1 |
| 補助ウェイト.....      | 1 |
| シエル.....         | 1 |
| シエルウェイト.....     | 1 |
| オーバハングゲージ.....   | 1 |

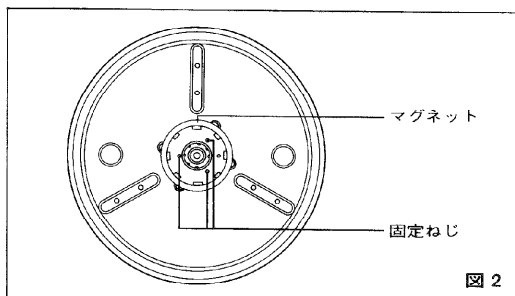
## 組立てかた

1. ターンテーブルをセンタースピンドルにはめます。

- ターンテーブルを取りつける場合、本体に当たらないようご注意ください。
- ターンテーブルの裏面内側にはマグネットがついています。ごみや鉄粉等が付着しないよう、また、高い所から落したりして、マグネットを破損させないよう、取扱いには充分ご注意ください。
- マグネットを固定している3カ所のねじは、さわらないでください。(図2)

万一、固定ねじをゆるめ、マグネットの取付位置を変えられた場合は、定格性能の保証はできません。

またダストカバーの取り付けは組立ての最終工程で行なうようにしてください。その他の組立て、調整がスムーズに行なえます。



2. ターンテーブルシートをターンテーブルにのせます。

### ■ディスクスリップシートの使いかた

ターンテーブルシートの代わりに使用すると、ターンテーブル回転中に、手でレコードを止めたり、逆転させることができます。

- 表面(印刷面)・・・レコード装着面
- 裏面……………スリップ面

### ■カートリッジの取り付け

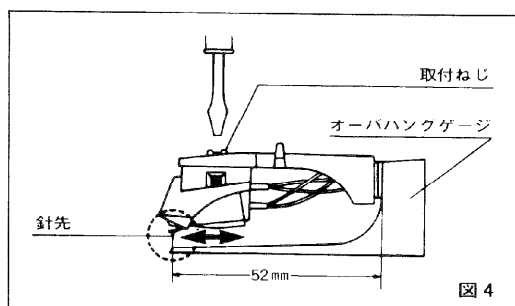
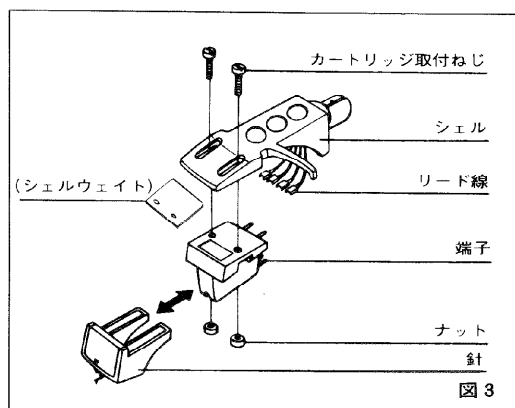
1. 図3を参考に、ご使用のカートリッジ説明書に従って正しく取り付けてください。

2. この場合、オーバハングを調整する必要があります。

図4のように付属のオーバハングゲージにシェルを取りつけて、針先を合わせますと、正しいオーバハングが設定できます。カートリッジ取付ねじを少しゆるめカートリッジを矢印方向に動かしながら合わせます。

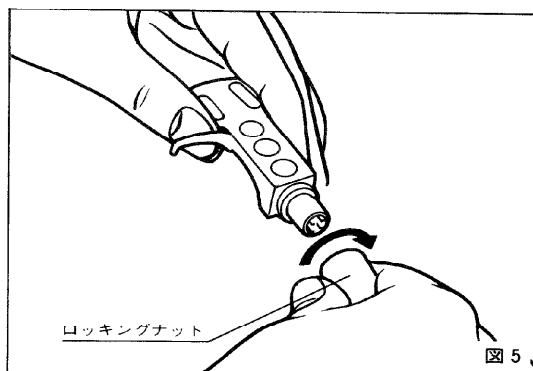
#### ご注意

軽いカートリッジ(3.5～6.5g)を取りつける場合は、付属のシェルウェイトをご使用ください。



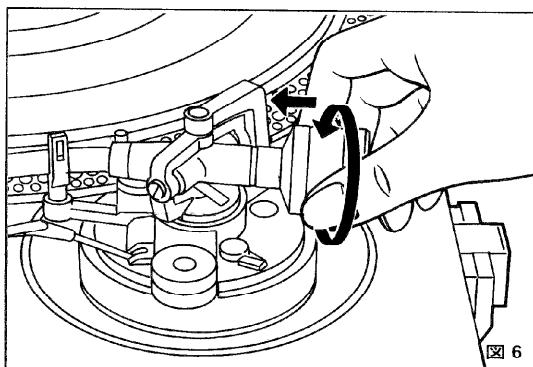
### ■シェルの取り付け(図5)

シェルのプラグ部をトーンアームの先端にはめ、シェルを水平に保持しながら、ロックングナットを矢印方向にまわして、しっかりと固定します。



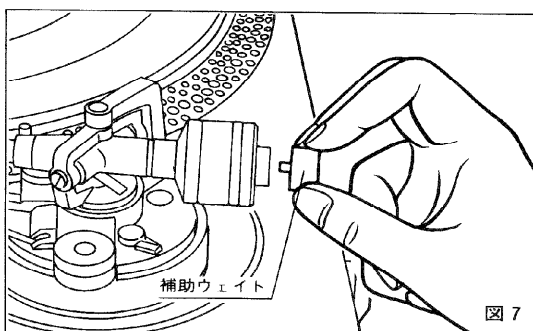
### ■バランスウェイトの取り付け(図6)

トーンアームの後部軸に、バランスウェイトを取りつけます。



#### ご注意

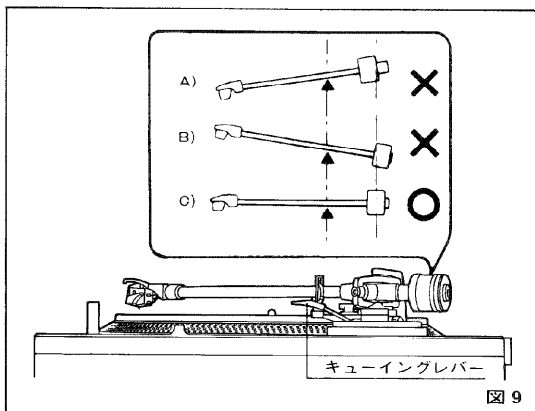
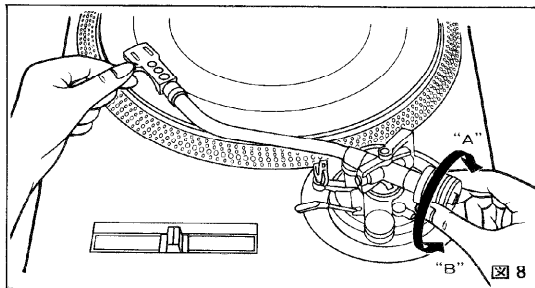
カートリッジ重量が10gを超える場合は、アーム後部軸に付属の補助ウェイトを取りつけてください。(図7) 補助ウェイトを使用した場合は、カートリッジの重量は9.5g～13gまで使用できます。



# 針圧調整のしかた

## ■水平(ゼロ)バランスの調整および針圧調整

1. 針先にふれないように注意して、針カバーをはずします。
2. アームクランパーをはずし、トーンアームをアームレストから離して、フリーの状態にします。(図8)
3. バランスウェイトを矢印(A)方向、(B)方向にまわしながら、トーンアームがほぼ水平の状態になるまで調整します。(図8、9)  
(キューイングレバーは図9のように下に倒しておきます。)

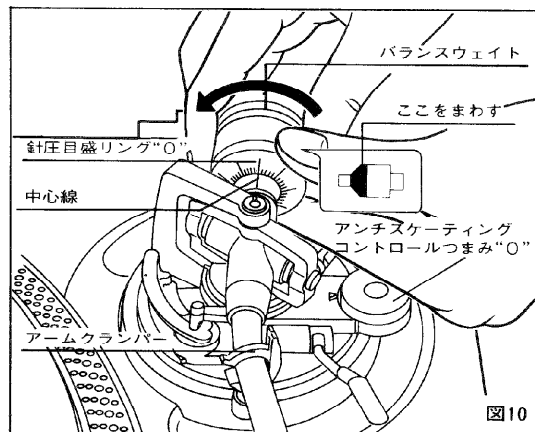


### ご注意

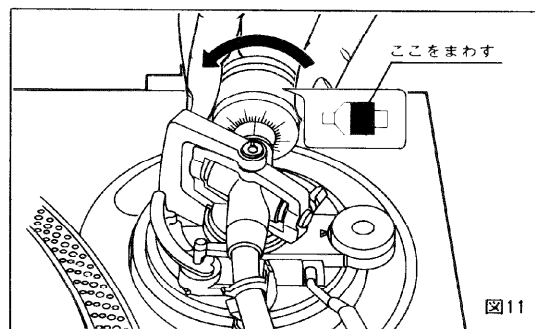
- A) バランスウェイトが前方にきすぎているため、カートリッジ側がさがります。
- B) バランスウェイトが後方にきすぎているため、カートリッジ側があがります。
- C) バランスウェイトとカートリッジのバランスがとれた状態。トーンアームが水平になります。

- 水平バランスを調整するとき、カートリッジの針先がターンテーブルシートや本体に、触れないようにご注意ください。
4. 水平バランスを調整した後トーンアームをアームレストに戻し、アームクランパーでいったん固定します。

5. 図10のように、バランスウェイトが動かないように指で支えて、針圧目盛リングだけをまわし、目盛リングの数字“0”をアーム後部軸の中心に合わせます。  
(これで水平バランス調整は完了です。)



6. バランスウェイトを矢印方向にまわし、ご使用カートリッジの適正針圧値に合わせます。(図11)

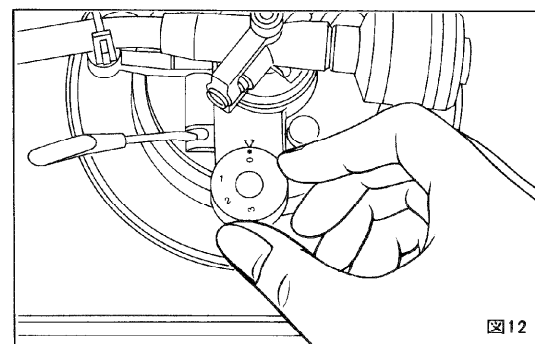


### ご注意

バランスウェイトをまわしますと、針圧目盛リングも一緒にまわりますから、目盛リングを直読しながら、適正な針圧に調整してください。

## ■アンチスケーティングの調整(図12)

針圧値と同じ目盛に合わせます。



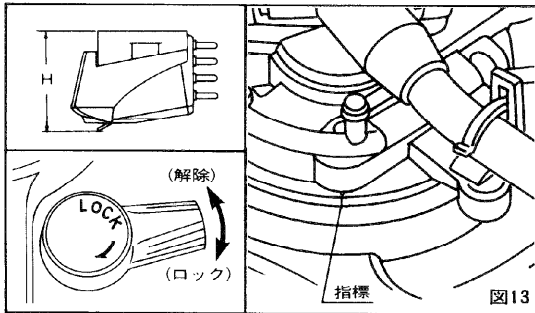
## ■アームの高さ調整(図13)

アームの高さ調整リングには、0.5mm刻みで6mmまで目盛を設けていますから目盛を直読して高さ調整ができます。アーム高さ調整リングの目盛とご使用カートリッジの寸法(H)を参考にアームの高さを設定してください。アームの高さ調整をするときは、アームロックつまみをまわしロックを解除してください。

| カートリッジの寸法(H)<br>(mm) | 高さ調整リングの目盛位置 |
|----------------------|--------------|
| 15                   | 0            |
| 16                   | 1            |
| 17                   | 2            |
| 18                   | 3            |
| 19                   | 4            |
| 20                   | 5            |
| 21                   | 6            |

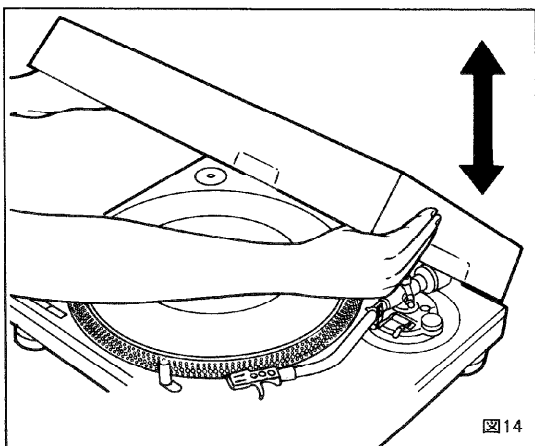
### ご注意

アームの高さ調整後は、必ずアームロックつまみをロックしてください。



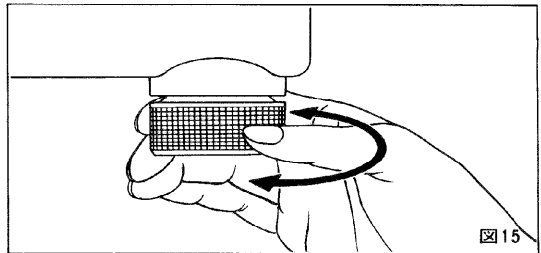
## ■ダストカバーの取り付け(図14)

ダストカバーの両側を支えて、真上よりはめ込みます。はずす場合も必ず図のようにダストカバーを開けた状態で行なってください。



## ■本体の高さ調整(図15)

脚/インシュレータは、プレーヤ本体の高さ調整機能も兼ねています。ご使用になる場所に設置した後に、本体が水平になるように調整してください。



# 接続のしかた

## ■PHONO端子の接続(図16)

**PHONO端子側**                      **アンプ側**  
 白色(L)                      → PHONO **L** の入力端子へ  
 赤色(R)                      → PHONO **R** の入力端子へ  
 黒色(アース線) → **GND** の端子へ

### ご注意

アース線の接続は必ず行なってください。アース線を接続しませんでしたと電源ハム(ブーンという音)が出ます。

PHONO端子以外の端子に接続するには市販のイコライザーアンプをご使用ください。

## ■電源プラグの接続(図16)

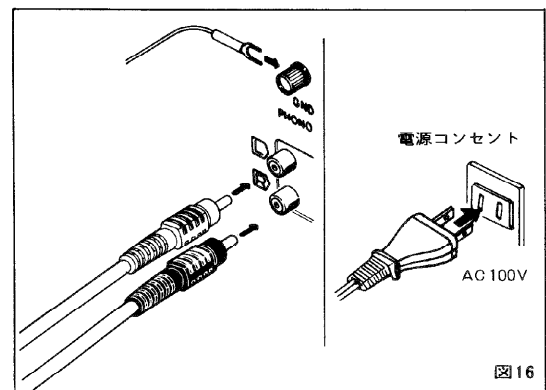
電源プラグをコンセントに接続します。

### ご注意

1) 本機は交流(AC)電圧100Vでご使用いただくようになっています。

200Vの電圧や直流(DC)電源には絶対接続しないでください。

2) アンプやレシーバ等の付属コンセント(ACアウトレット)に接続する場合は、そのコンセントに表示されたワット数を確認してください。本機の消費電力は13.5Wです。



# プレーヤの設置

- 外部振動を受けない、しっかりした水平な場所に設置してください。
- スピーカシステムからできるだけ離して設置してください。
- 直射日光、ほこり、湿気などの多い場所や、暖房器具の近くは避けてください。
- 通風の良い場所を選んでください。
- ラジオ (FM/AM放送) を極端に近づけると、ラジオに雑音が入る場合がありますので、できるだけ本機より離してください。

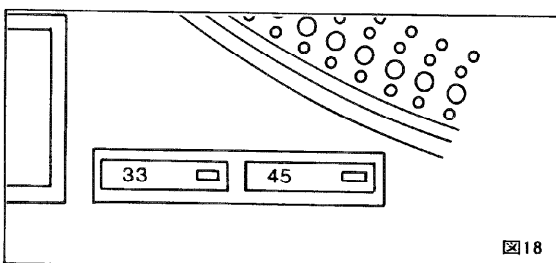
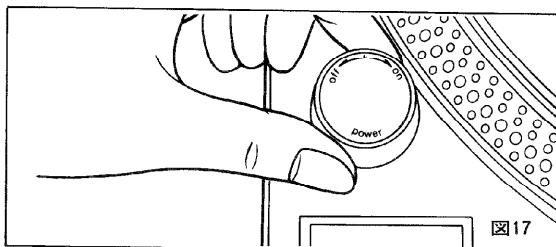
## 演奏のしかた

1. レコード盤をターンテーブルシートにのせます。
2. パワースイッチをまわし電源をonにします。(図17)

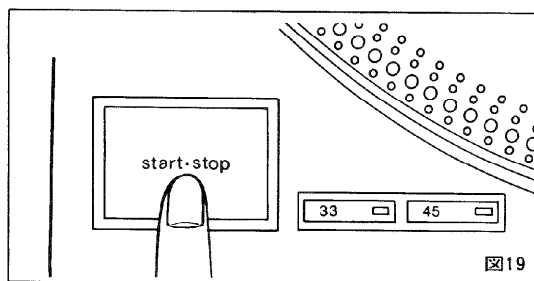
### ご注意

パワースイッチをonにしますと、自動的に33 $\frac{1}{3}$ 回転にセットされます。

- 45回転のレコードを演奏するときは、スピード切換ボタンの45を押してください。(図18)



3. 針カバーをはずします。
4. アームクランパーをはずします。
5. スタート/ストップボタンを押します。(図19)  
ターンテーブルは回転します。



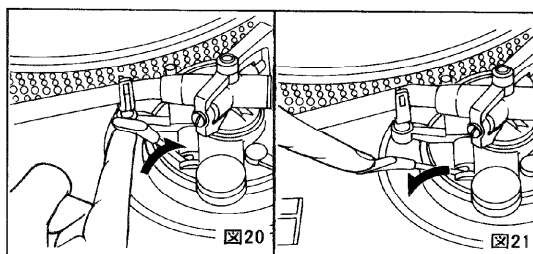
6. キューイングレバーを起こします。(図20)

トーンアームは上昇します。

7. トーンアームをレコード盤上に移動します。

8. キューイングレバーを倒します。(図21)

トーンアームは静かに下降し演奏が始まります。



9. 演奏が終了したら、トーンアームをアームレストに戻しアームクランパーで固定してください。

また、針先保護のため針カバーをつけておいてください。

10. スタート/ストップボタンを押します。

ターンテーブルは電子ブレーキによりなめらかに停止します。

その後、パワースイッチをまわして電源をoffにしてください。

### ご注意

- スタート/ストップボタンを押さずにパワースイッチをoffにした場合、電子ブレーキは働きません。

### ■演奏を一時中断する場合

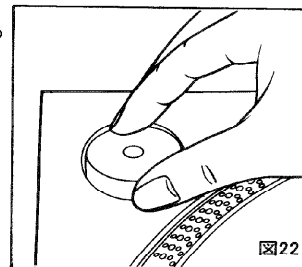
- キューイングレバーを起こします。  
カートリッジの針先はレコード盤より離れます。

### ■EPレコードの演奏(図22)

- EPレコード用アダプタをセンタースピンドルにはめます。

スピード切換ボタンの45を押します。

- アダプタを取り出しやすくするためアダプタホールに段差を設けています。  
図のように先端をおさえ、手前を持ちあげて取り出してください。



## ■スタイラスイルミネータについて

本機は、演奏中に針先を照明するスタイラスイルミネータを内蔵しています。スタイラスイルミネータスイッチを押しますと、スタイラスイルミネータが点灯し針先を照明する位置まであがります。(図23)

特に必要のないときは、スタイラスイルミネータを押さえ、さげておいてください。このときスタイラスイルミネータは消灯します。

### ご注意

スタイラスイルミネータスイッチは、確実に押してください。

中途半端に押しますと、点灯したままでスタイラスイルミネータは上昇しません。

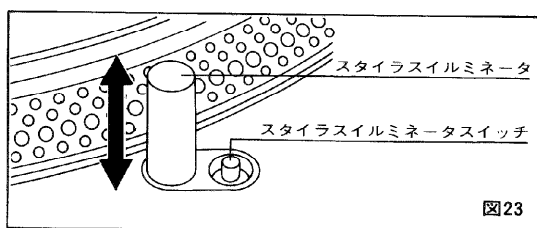


図23

# 調整のしかた

## ■ピッチコントロール(回転数の微調整)(図24, 25)

パワースイッチをonにして電源を入れます。

ピッチコントロールつまみが中心部にあるときは、緑のLEDランプが点灯しクリックのある位置で規定の回転数(33⅓か45rpm)が得られます。

ピッチコントロールは約±8%可変できますから、ピッチインジケータの目盛を目安に調整してください。

インジケータの数値はおよその%を示しています。

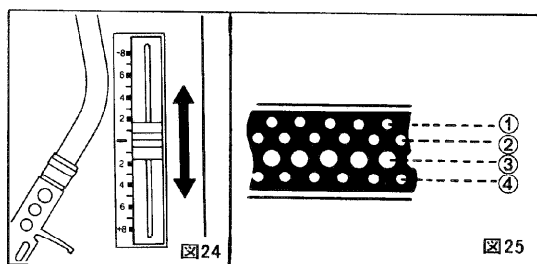


図25

ターンテーブルの円周に刻まれた4列のストロボ縞目でより細かいピッチの検出ができます。各々のストロボ縞目の停止して見えるときは①～④のピッチ変化を示しています。

①が停止して見えるときは、+6%のピッチ変化を示しています。

②が停止して見えるときは、+3.3%のピッチ変化を示しています。

③が停止して見えるときは、規定の回転数(33⅓か45rpm)を示します。

④が停止して見えるときは、-3.3%のピッチ変化を示しています。

### ご注意

本機のストロボ縞目の照明には、クォーツの正確な周波数と同期したストロボイルミネータ(LED/赤色照明)を使用しています。回転数の微調整をするときは必ずこのLEDの照明をもとに行なってください。

蛍光灯とは同期していませんから回転数の調整はできません。また蛍光灯下ではストロボ縞目が流れて見えますが異状ではありません。

## ■アームリフトの高さ調整(図26, 27)

アームリフトの高さ(キューイングレバーをあげて、針先とレコード面に生ずる間隔)は工場出荷時に約8～13mmの範囲で調整しています。(図26)

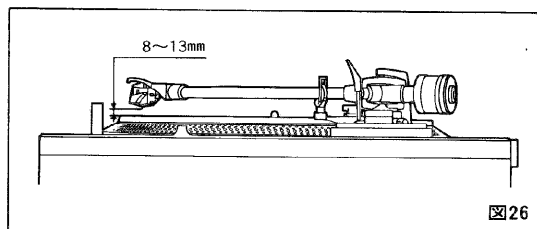


図26

ご使用カートリッジによって、とくに調整が必要な場合は、下記手順で調整してください。

- 針先保護のため、針カバーをします。
- ターンテーブルが回転しないようにパワースイッチをoffにします。
- ねじ頭は六角形になっていますから、必ずアームリフトを下方へ押えながらねじをまわしてください。(図27)

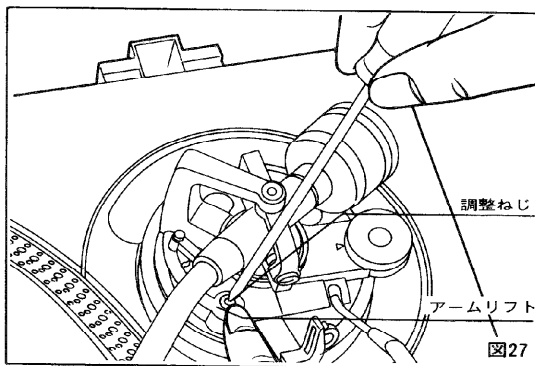


図27

時計方向——レコード盤と針先の間隔が狭くなります  
反時計方向——レコード盤と針先の間隔が広がります

# 取扱い上のご注意

## ■針先やレコードに付着したほこりやごみはよく取り除いてください。

針先にほこりやごみがついたまま演奏しますと、針先がレコード音溝に正確に接触せず、音質が悪化するだけでなく、レコード盤や針先の損耗が早まります。

トーンアームからシェルごと取りはずし、やわらかい穂先のはけか毛筆などで根もとから針先に向かっていねいに取り除いてください。

また、レコード盤も良質のレコードクリーナーでよくふいてください。

## ■シェル端子は時どきふいてください。

シェルをトーンアームからはずしておきますと、シェル端子にほこりやごみがつき、接触不良を起こし、雑音が発生したり、ハムが大きくなったり、また、音が出なくなる場合がありますので、やわらかい布などで、シェル端子をふいてから、トーンアームに取りつけてください。

## ■シェルを着脱する場合、アンプのボリュームを“0”にするか、アンプの電源を“off”にしてから行なってください。

ボリュームをあげた状態でシェルの着脱を行ないますと不愉快な音がするだけでなく、スピーカをいためる場合があります。また、シェルを着脱する場合は、針先保護のため、針カバーをしてください。

## ■ダストカバーやキャビネットはやわらかい、かわいた布で空ぶきしてください。

ダストカバーやキャビネットをアルコール、ベンジン、シンナー等の溶剤でふかないでください。ダストカバーやキャビネットの光沢が失われたり、塗装がはげたりします。

また、化学ぞうきん等の使用も避けてください。

スプレー式の殺虫剤がダストカバーにかかりますと、「ひび割れ」や「くもり」が生ずることがありますからご注意ください。

万一、油類のようなものが付着して、空ぶきでは、きれいにならない場合は、うすい石けん水にやわらかい布をひたし、固く絞って汚れをふきとった後に、乾いた布で空ぶきしてください。この場合、水気は危険ですから、必ず電源プラグを引き抜いてください。

演奏中には、ダストカバーをふかないでください。静電気が発生して、トーンアームがダストカバーに引きつけられることがあります。

## ■注油について(図28)

本機は、2000時間に1回、2～3滴の注油で十分です。別売りの純正オイル(SFW0010)をお求めください。

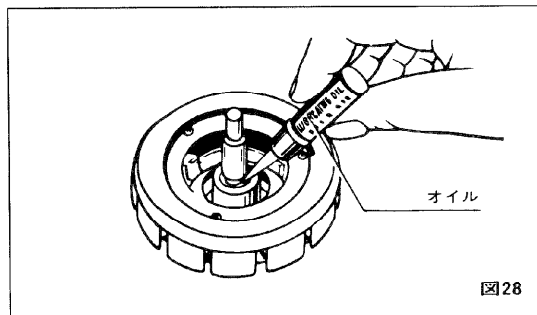


図28

## ■転宅などで、遠くへ運ばれるとき

購入時の包装材で、開梱のときと逆の方法で包装してください。包装材がないときでも、次のことは必ず行なってください。

- ターンテーブルシートとターンテーブルを抜きとって、傷のつかないように包装します。
- アームをアームレストに戻し、更にテープで結んで動かないようにしてください。
- バランスウェイトやシェル/カートリッジは、アームから取りはずし、傷のつかないように包装してください。
- 本体は、毛布や、やわらかい紙で、傷のつかないように包装してください。



# 定格

|                                                                                            |                                                                                           |
|--------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------|
| (総合)                                                                                       |                                                                                           |
| 電源                                                                                         | 源……AC 100V、50/60Hz                                                                        |
| 消費電力                                                                                       | ……13.5W                                                                                   |
| 外形寸法                                                                                       | ……幅45.3×奥行36×高さ16.2cm                                                                     |
| 重量                                                                                         | ……12.5kg                                                                                  |
| (ターンテーブル部)                                                                                 |                                                                                           |
| 形式                                                                                         | ……クォーツダイレクトドライブターンテーブルシステム(マニュアル)                                                         |
| 駆動方式                                                                                       | ……ダイレクトドライブ                                                                               |
| 駆動モータ                                                                                      | ……ブラシレスDCモータ                                                                              |
| ターンテーブル                                                                                    | ……アルミダイカスト製、直径33.2cm<br>重量2kg(ゴムシート含む)                                                    |
| 回転数                                                                                        | ……33 $\frac{1}{3}$ ・45rpm                                                                 |
| 起動トルク                                                                                      | ……1.5kg・cm                                                                                |
| 起動特性                                                                                       | ……90°で定速回転、 $\frac{1}{3}$ 回転以内<br>(33 $\frac{1}{3}$ rpm時)                                 |
| ブレーキ機構                                                                                     | ……電子ブレーキ                                                                                  |
| 回転数偏差                                                                                      | ……±0.002%以内                                                                               |
| ワウ・フラッタ                                                                                    | ……0.01% W.R.M.S.*<br>0.025% W.R.M.S.<br>(JIS C5521)<br>+0.035% peak<br>(IEC 98A weighted) |
| ※レコード、カートリッジ、トーンアームなどの影響を除いた回転部(ターンテーブル含む)のみの回転数瞬時変動を示します。この値は、モータ内蔵のF・Gからの信号を用いて測定したものです。 |                                                                                           |
| S/N比                                                                                       | ……78dB<br>(ランブル) (IEC 98A weighted)<br>56dB<br>(IEC 98A unweighted)                       |

|            |                                                                                                               |
|------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| (トーンアーム部)  |                                                                                                               |
| 形式         | ……ユニバーサルS字形トーンアーム<br>ジンバルサスペンション軸受構造<br>スタチックバランス形                                                            |
| アーム有効長     | ……230mm                                                                                                       |
| オーバーハング    | ……15mm                                                                                                        |
| トラッキングエラー角 | ……+2°32′(30cmレコード外周)<br>+0°32′(30cmレコード内周)                                                                    |
| オフセット角     | ……22°                                                                                                         |
| 回転軸感度      | ……水平、垂直、初動感度7mg以下                                                                                             |
| アーム実効質量    | ……12g(カートリッジなし)                                                                                               |
| アーム高さ調整範囲  | ……6mm                                                                                                         |
| 針圧調整範囲     | ……0～2.5g(針圧直読式)                                                                                               |
| シェル重量      | ……7.5g                                                                                                        |
| 適用カートリッジ重量 | ……6～10g<br>(シェル含 13.5～17.5g)<br>9.5～13g……補助ウェイト使用時<br>(シェル含 17～20.5g)<br>3.5～6.5g…シェルウェイト使用時<br>(シェル含 11～14g) |
| カートリッジ取付寸法 | ……JIS規格12.7mm( $\frac{1}{2}$ インチ)<br>取付間隔                                                                     |
| シェル端子ラグ    | ……1.2mmφ 4ピン端子ラグ                                                                                              |

# 安全にご使用いただくために

## ■使用できる電源、電圧は、 (AC100V)

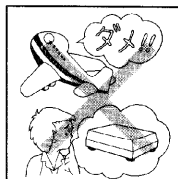
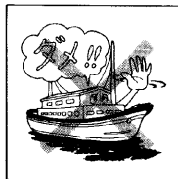
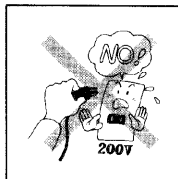
- 定格以外の電源は使用しないでください。

大型クーラやセントラルヒーティングの電源電圧は、200Vになっていますので絶対に接続しないでください。

本機の電源周波数は、50Hz、60Hzどちらでも使用できます。

- 船舶などのDC(直流)電源は使用できません。

船舶などは、DC(直流)電源を使用している場合がありますので、よく確認してください。



## ■電源プラグの抜き差しは、

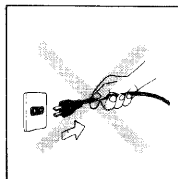
ぬれた手でさわらないでください。

ぬれた手で電源プラグを抜き差しすると、感電する恐れがあります。



## ■電源コードは引っぱらないでください。

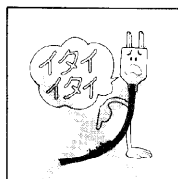
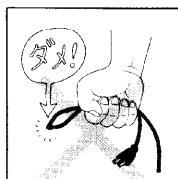
電源プラグをコンセントから抜く場合、電源コードを引っぱらずに、必ず電源プラグ自体を持って抜き取ってください。



## ■電源コードについて

電源コードが重い物の下敷になったり、角のとがった机などにはさまれた状態にならないよう、また、電源コードを無理に折り曲げたり、ご自分で電源コードを継ぎ足すなどの加工は絶対にしないでください。万一、電源コードに傷がついたり、断線したり、また接触不良が生じたときは、お求めの販売店に修理を依頼してください。

そのまま、使用されますと、火災や感電の恐れがあります。



## ■異物は感電や故障の原因になります。

セットの内部に金属類を入れないでください。セットのすき間や内部に、縫い針やヘアピン、硬貨などの金属類が入ると、感電や故障の原因になります。

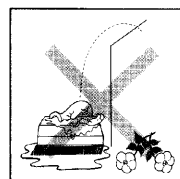
特にお子様にご注意ください。万一、異物が本機の内部に入った場合は、ただちに電源プラグを抜き取り、お求めの販売店にご相談ください。



## ■本機に水が入ったら、

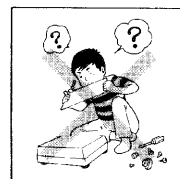
本機内部に水が入ると、感電や故障の原因になります。

水害、雨漏りなどで本機に水が入った場合、また誤って水がかかった場合は、ただちに電源プラグをコンセントから抜き取り、お求めの販売店にご相談ください。



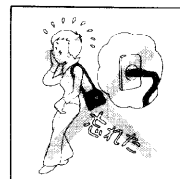
## ■本機をご自分で分解したり、改造しないでください。

ご自分で分解したり、改造されますと危険ですから、絶対におやめください。



## ■長期間使用しないときは、

電源スイッチを押し、「off」にするとともに、電源プラグをコンセントから抜いておいてください。

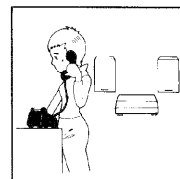


## ■本機に異常があるとき、

本機を使用中、異常な雑音、におい、動作不良など、異常と思われたら、ただちに操作を中止し、電源プラグをコンセントから抜き取り、お求めの販売店にご相談ください。

そのまま、使用されますと、故障の範囲を大きくしたり、思わぬ事故の原因になる場合があります。

また、電源ヒューズが切れた場合でも、ご自分で交換されるのは危険ですから、販売店におまかせください。



# アフターサービスについて

## ■保証書（別に添付してあります。）

保証書は、必ず「販売店名・購入日」等の記入を確かめて販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

保証期間—ご購入日から1年間です。

## ■修理を依頼されるとき

もう一度取扱説明書をよくお読みいただき、ご確認のうえ、なお異常のあるときには、必ず電源プラグを抜いてから次の処置をしてください。

## ●保証期間中は

お求めの販売店にご連絡ください。  
保証書の規定に従って、販売店が修理させていただきます。

連絡していただきたい内容

- ご住所・ご氏名・電話番号
- 製品名・品番・ご購入日
- 故障または異常の内容
- 訪問ご希望日

## ●保証期間が過ぎているときは

お求めの販売店に、ご相談ください。  
修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理させていただきます。

## ■補修用性能部品の最低保有期間

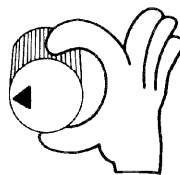
本機の補修用性能部品（機能維持のために必要な部品）の最低保有期間は、製造打切り後8年です。この期間は、通商産業省の指導によるものです。

## ■アフターサービス等について、 おわかりにならないとき

お求めの販売店または最寄りの「ご相談窓口」（別紙ご参照）にお問い合わせください。

## ステレオ音のエチケット

楽しい音楽も時と場所によっては気になるものです。特に静かな夜間には窓を閉めたり、ヘッドホンをご使用になるのも一つの方法です。



音のエチケット  
シンボルマーク

便利メモ (おぼえのため、記入されると便利です。)

|       |        |               |        |        |            |
|-------|--------|---------------|--------|--------|------------|
| ご購入店名 | ☎( ) — | 最寄りの<br>ご相談窓口 | ☎( ) — | ご購入年月日 | 年 月 日      |
|       |        |               |        | 品 番    | SL-1200MK3 |

松下電器産業株式会社 オーディオ事業部  
〒571 大阪府門真市松生町1番4号 ☎(06) 909-1021

RQT0286-S  
F0989F3076